

## 名古屋市情報教育研究発表大会

2月4日（金）名古屋市教育センター講堂において、名古屋市情報教育研究発表大会が行われました。

### 研究主題

## 見つける楽しさ、わかる喜び、そしてあふれる感動 —情報活用能力を育てるICT活用を通して—

名情研は、今年度もよりよい情報教育をめざし、活動を進めてきました。研究発表大会では本年度の事業部・研究部の取り組みについて報告しました。今回はその中で研究部の取り組みについてお知らせします。

### 1 研究主題について

この研究主題は平成19年度から始め、4年目になります。本年度はこれまでの取り組みをさらに発展させ、「ICTの活用」に重点を置き、子どもたちが「わかった」「できた」を実感できるような「わかる授業」を目指して進めてきました。

ICTの環境整備が進み、各学校にコンピュータやプロジェクタ、大型ディスプレイ、電子黒板などが導入されてきました。そこで、「①教師が授業中にICTを活用して指導」「②児童・生徒のICT活用を指導」の2つに焦点をあてて研究を進めました。①では教師がICTを活用して映像などの資料を子どもたちに提示しながら授業をすることで、子どもの興味関心を高めたり、思考や理解を深めたりしながら、「わかる授業」を目指しました。②では子どもがICTを適切に活用することができるようにし、必要な情報を見つけたり、自分の考えを伝えたりする学習を通して情報活用能力の育成を目指しました。



研究発表会の様子

### 2 実践研究部の発表

実践研究部の発表では、ICTを活用した指導法についての取り組みについて4つの実践を発表しました。

#### <教師がICTを活用した実践>

#### (1) 「自分の思いを楽しく伝えよう」（小5・総合的な学習の時間）

自分のやりたい将来の夢を粘土で表現した作品「未来に生きる私」を写真に撮りました。そして、その写真に画像編集ソフトを使って背景をつけることで、自分の思いがより相手に伝わるように加工する活動をしました。効果的な画像編集を考えさせるために教師が画像ソフトで編集した画像を電子黒板を使って提示し、編集前と編集後の印象の違いに気付かせました。教師がICTを活用して子どもたちに画像編集の効果を分かりやすく提示し、効果的な編集とはどういうことかを考えさせることで、子どもたちは画像編集の効果を良く理解し、自分の思いが伝わるように各々作品に背景をつけることができました。

(2) 「できることを紹介しよう」 (小6・外国語活動)

子どもたちが外国語に慣れ親しむことができるように、英語ノートソフトと電子黒板を活用しました。リズムに合わせて発音することで英語に慣れ親しむ「チャンツ」の場面で英語ノートソフトを電子黒板を使って映し出し授業を行いました。画面の音声マークをクリックすると音声流れます。挿し絵を見ながら、音声に合わせて子どもたちはリズムカルに発音練習をし、楽しく英語を学ぶ様子が見られました。英語発音が苦手な教師も、電子黒板と英語ノートソフトを活用すれば、子どもたちに楽しく外国語の学習をさせることができます。また、ビンゴゲームの進め方を英語で説明するときも、電子黒板で英語ノートと同じ資料を提示しながら説明することで、子どもたちは進め方をすぐに理解することができました。



電子黒板を使った説明の様子

＜子どもがICTを活用した授業実践＞

(1) 「情報を活用しよう」 (小4・総合的な学習の時間)

インタビュー等で収集した資料を電子黒板の「拡大機能」や「書き込み機能」を使って提示するなど、子どもたちが発表方法を工夫して、相手に分かりやすく伝えることができるようにしました。インタビューや資料収集の際にデジタルカメラやビデオカメラを活用して、いろいろな角度の画像資料を集めました。そして、分かりやすい発表とは何かを話し合いました。子どもたちは電子黒板の特性をよく理解し、集めた画像資料の中の見たいところを拡大したり、必要な文字を書き込んだりして、発表することができました。

(2) 「修学旅行を楽しもう」 (小6・総合的な学習の時間)

修学旅行に向けて、見学地の情報をインターネットで調べました。インターネットにはいろいろな情報があり、正しいかどうか判断することが難しいです。そこで、①複数の情報を集め比較する。②調べる観点を明確にして、集めた情報を整理する。という活動を通してインターネットを使った情報収集の方法について学ばせました。いくつかの情報を集め話し合うことで、子どもたちは複数の情報を比較することや、公式ホームページなどの信頼のある団体が運営しているホームページから情報を収集するなど、情報の信憑性に目を向け、よりよい情報の収集のしかたを身につけることができました。また、観点を明らかにして集めることで、たくさんの情報を整理する力もつけることができました。

3 カリキュラム研究部の発表

カリキュラム研究部では、「情報活用能力を育成する指導カリキュラムの充実」をテーマに、情報活用能力を育成するカリキュラム表(名情研ホームページ掲載)を整備・充実させ、多くの方に実践例を紹介するための窓口づくりに取り組みました。

これまで三つに分けてまとめられていた実践例を一つにまとめ、カリキュラム表から選択できるようにしました。

「使用している機器」、「指導案」、「指導計画」、「情報活用のステップ」、「情報モラル」など実践例の内容がすぐ分かるよう記号で表示したり、学年や教科の配列を工夫したりして、知りたい実践例を選択しやすくしました。ぜひご活用ください。



新しくなったカリキュラム表

名情研はこれからも情報教育の充実・発展を目指して研究を進めていきます。本年度の研究については、名情研ホームページに「研究集録Web版」として掲載していますので、ぜひご覧ください。

名情研ホームページ「<http://www.meijoken.com/>」